

おおさかグローバルレター VOL. 1

大阪府国際化戦略実行委員会 ☎06-6948-6781

おおさかグローバル塾短期留学について

今年度からスタートしたおおさかグローバル塾は、米国コースが7月22日から8月4日まで、英国コースが8月19日から8月31日まで、それぞれアメリカ合衆国のサンフランシスコ及びイギリスのロンドンほか数都市において短期留学を実施しました。この短期留学は、4月から始まった留学準備コースにおける準備学習を踏まえ、実践的に現地で学びを体験するもので、各コースに特色あるプログラムが用意されており、生徒たちが最も楽しみにしていたものです。それぞれ約2週間にわたる外国での滞在経験は、生徒たちにとってどれも刺激的で、グローバルに活躍できる人材になりたいという将来の夢に向かい、これから何をすべきか、一歩具体的なイメージを掴みとって帰国しました。ここでは、現地で過ごした短期留学の様子を簡単にご紹介します。

【米国コース】

米国コースは、サンフランシスコ州立大学を拠点として、宿泊は同大学の学生寮で過ごしました。同大学は、アメリカでも5本の指に入ると言われるほど美しいキャンパスが自慢で、そこでグローバル塾生向けに用意された英語学習授業や専門講義を受講したほか、在学生への学内インタビュー、キャンパスツアーなど、学内生活を存分に楽しみました。



(授業の様子)

特徴となっています。ネット社会が浸透した今日では誰もが知っているYahoo、twitterの本社を訪問し、そこで働く日

本人社員との意見交換をすることができたほか、検索サイト最大手Google社発祥の地でもあるインキュベ

ート施設

Plug and

Playを見学し、ネットビジネスが生まれる現場を体感することもできました。ここでは、同施設に入居するsunbridge



(Yahoo 本社前)

米国コースでは、滞在先が合衆国西海岸という地理的特性を生かして、シリコンバレーの先端企業への訪問プログラムが充実しているのも大きな

japan社のCEOでかつて日本オラクル社の社長も務められたアレン・マイナー氏による講演が用意されていました。同氏から次代を担う若者に夢を実現するためのアドバイスがあり、生徒たちは大変感激していた様子でした。

サンフランシスコは古くから日系人社会が形成されるなど、歴史的にも日本との結びつきが強く、現在でも在留邦人の多い街であり、米国に開設された日本の在外公館の中で最も歴史が古い在サンフランシスコ日本総領事館があります。今回はグローバル塾生の同館への訪問も実現しました。同館管轄区域における政治や地方行政の現



(在サンフランシスコ日本総領事館)

状、シリコンバレーの歴史や展望、日系人社会の形成の歴史等、同館に駐在する外交官から直接説明を受け、国益の保護や国際交流のために働く外交官の姿に尊敬のまなざしを注いでいました。



(ボランティア活動-サンドイッチづくり-)

アメリカでは、学生が積極的にボランティアに参加するなど、何らかの形で地域社会に貢献することが期待されています。今回は、実際に留学した時に経験するであろうボ

ランティアワークのプログラムが2日間用意されており、数人ごとのチームに分かれてボランティアに参加しました。

老人ホームにおける歌や浴衣の着付け実演、保育所での折り紙遊び、更生施設でのサンドイッチづくり、国立公園内の環境美化活動等、具体的な内容はさまざまですが、日本人らしく振舞う自分たちの活動が現地の方々に大きく喜ばれたことに満足していた様子でした。

サンフランシスコの夏は、日本と違い肌寒いものの、天気の良い日が続き、体調を大きく崩す生徒もなく、順調にプログラムを消化することができました。最終日、シリコンバレーの頭脳とも呼ばれるスタンフォード大学のキャンパスを見学して、サンフランシスコに別れを告げました。

【英国コース】

英国コースでは、イングランドにある7箇所の大学を訪問し、うち4つの学生寮に宿泊するなど多彩な大学滞在を体験できるのが特徴です。イギリスの大学は、街中にキャンパスや学生寮が点在するシティ型と、大学の敷地内ですべて揃うキャンパス型の大きく分けて2タイプあり、今回の短期留学では両タイプの大学を訪問しました。参加した塾生は、現地学生やスタッフとの交流を積極的に図ったほか、各大学では、キャンパスツアーやUK留学について詳しい説明が用意されており、留学までの道のりについて理解を深めることができました。

最初に訪問したのは、カンタベリー・クライストチャーチ大学です。同大学は、英国国教会の総本山カンタベリー大聖堂があることで知られている、カンタベリーの街中に、学生寮・キャンパス・図書館などが点在する典型的なシティ型の大学です。また、プログラムの一環で、カンタベリー大聖堂の晩禱にも列席しましたが、厳かな雰囲気で行われた晩禱が終わった後の皆の表情は、より一層引き締まったものとなりました。

その後は、同じKent州にあるKent大学とUCA芸術大学を訪問しました。



(Kent大学—キャンパスツアー—)

上に建つキャンパスからカンタベリーの街が一望できたほか、設備が充実した図書館や運動施設などに皆感動していました。また、UCA芸術大学は、アニメーション、建築、ファッション、フィルム映像など様々なアートが学べ、150年以上の歴史を持つ伝統校で、学生の作品にも触れることができました。

次に訪問したのは、19世紀に毛織物業を中心に発展した街リーズにある国際色豊かなリーズ大学で



(リーズ大学—ヘアウッドハウス見学—)

す。同大学では、イギリスの伝統的なヘアウッドハウス（大邸宅）の歴史や生活様式等の講義と見学、さらには英国式の美しい庭園や室内に飾られる装飾品・絵画の数々を見学し、塾生は皆感銘を受けたようでした。このほか19世紀の作家シャーロット・ブロンテやその作品「ジェイン エア」の講義を受けました。実際にブロンテ姉妹が生活していたハーワズの町やミュージアムも訪問し、当時の社会制度や習慣についてより理解が深まったようでした。

さらには、学園都市として名高いケンブリッジで大学見学をした後、イングランド北西部のノーリッチにあり広大な敷地を持つキャンパス型のイーストアングリア大学を訪問しました。



(イーストアングリア大学—プログラミング—)

同大学では、心理学、法律、グラフィック、プログラミング、細胞研究など多岐にわたるアカデミックな授業が用意されており、



(リージェントカレッジ—ロンドンで活躍する日本人の方々の講義—)

塾生の興味関心に応じて講義を選択し受講することができました。最後の滞在先は首都ロンドンにあるリージェントカレッジ

です。ここでは、イギリスで活躍する日本人ジャーナリスト・マクギネス真美氏と建築家・山崎一也氏から、渡英経験や現在の仕事について講演していただきました。留学に向けた励ましやアドバイスの言葉も頂き、留学の実現に向けいよいよ具体的なイメージを持つ塾生も多かったです。短期留学の最終日には、グループで計画したロンドン市内研修を無事終え、帰国の途に就きました。

おおさかグローバル塾は、9月以降海外留学準備コースとしてもうしばらく続きますが、今回の経験をきっかけとして近い将来ひとりでも多くの塾生が留学の道を選び、さらに就職後も海外を舞台に活躍する大阪発のグローバル人材の先駆者として、大阪の活力向上に貢献されることを願ってやみません。